



いのちのひろば

Vol. 235
2018.11.25



- 1面 小児救急救命センター
- 2面 認定看護師に聞く「風しんワクチンの接種」
- 3面 地域医療連携「とりい内科クリニック」
- 4面 地域医療検討会報告 JRAT 災害支援活動報告

2018年11月1日に「小児救命救急センター」の指定を受けました!!

小児の救急医療には様々な問題があり、国を挙げてその改善に取り組んでいます。これまでも夜間休日診療所の整備、小児患者の集約化などが行われてきました。そして、その取り組みの一つとして、平成22年に厚生労働省は「小児救命救急センター運営事業」を創設し、すべての重篤な小児救急患者が地域において必要な救命救急医療を速やかに受けられる体制の整備を進めています。しかし、最重症の小児に対応できる「小児救命救急センター」は、全国でもまだ14施設しか指定を受けていないのが現状です。

小児救命センターの指定を受けるには小児集中治療室（PICU）を6床以上整備するなど、設備面の要件に加えて、「診療科を問わず、すべての重篤な小児救急患者を24時間体制で必ず受け入れること」さらに「相当数の症例数を取り扱っていること」などの診療状況も要件も満足する必要があります。

当院はこれまで地域の医療機関と連携しながら、小児科だけでなく、小児外科、小児脳外科、小児麻酔科など小児に特化した診療科を整備しあらゆる重症小児に対応できる医療体制を堅持してきました。4年前に8床のPICU設立し設備面は一段と充実しました。さらに、当院の救急外来を受診した重症患者だけでなく、地域の病院で発生した重症患者に対しても24時間体制でドクターカーによる迎え搬送を行い、当院のPICUにて集中治療を提供してきました。そしてこの度、このような取り組みが評価され、11月1日をもって大阪府内で初の『小児救命救急センター』の指定を受ける運びとなりました。

さて、小児救命救急センターではどのような患者さんに対応するのでしょうか？交通事故、頭蓋内出血、熱傷、痙攣重積、呼吸不全、心肺停止状態など大変な状態のこどもたちの治療を行います。人工呼吸管理、緊急手術などの高度で専門性の高い医療を迅速かつ適切に提供しないといけません。これまでも高槻病院では同様の患者さんを受け入れ治療してきた実績がありますが、『小児救命救急センター』の指定を受けたことで改めてスタッフ一同、身の引き締まる思いです。

高槻病院の小児医療分野は一般的な小児科診療だけでなく、新生児医療、外科的疾患、在宅医療、集中治療、児童虐待対応など多岐の分野に渡るシームレスな医療



小児科・PICU 主任部長
起塚 庸



の展開を目標にしてみました。今回、『小児救命救急センター』の指定を受けることで新たに重症小児の救急分野が強化されることとなります。しかし、すべての分野を高槻病院だけで完結することは到底不可能です。小児科クリニック、他病院、夜間休日診療所等の他の医療機関と連携し役割分担することが必要です。逆にそのような役割分担を進めることで、当院でしか提供できない医療を必要としている子どもに適切に提供することが可能になります。つまり、当院での診療を希望して頂いた患者さんであっても、他の医療機関でも対応可能な疾患であれば他施設の先生にご紹介し診察をお願いすることもあるかもしれません。せつかく当院での診察を希望されたにもかかわらず、他の医療機関にご紹介することには残念な思いもありますが、結果的にこのように他施設との連携および役割分担を進めていくことが、地域の小児医療全体を守ることに繋がっていきます。なにとぞご理解をお願いいたします。

私たちは『all for kids(すべてはこどものために)』を合言葉にこどもの笑顔を守るために取り組んでいく所存です。引き続き、地域の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

認定看護師に聞く

風しんのワクチンを接種しましょう

感染管理認定看護師 助産師 大年 和可奈

今年8月ごろより関東圏において風疹が流行していることをご存知でしょうか。

国立感染症研究所の報告では、今年になって風疹患者が1100人を超えたとされ、
 昨年約12倍にも上っています。これは平成24～25年の前回の流行に匹敵する規模への拡大が懸念されています。



風しんは妊婦がかかると赤ちゃんに影響するおそれがあります

妊婦が20週ごろまでに風しんにかかると生まれるながらにして眼や耳に障害をもった子どもが生まれることがあります。この障害を先天性風しん症候群といいます。

本人が「十分な抗体を持っていない」と知らない場合があります

今回感染が報告されているのは、風疹の免疫を持っていない人が多い30～50代の男性が中心です。

感染した本人が気付かずにまわりにうつしてしまうことがあります

ウイルスに感染しても明らかな症状が出ない方が15～30%程度いるといわれています。そのため知らないうちに、家族や周囲の人に風しんウイルスをうつしてしまう可能性があるのです。

あなたは何年生まれですか？ 風しんワクチン接種状況チェック！

	男性	女性
1990年4月以降生まれ		2回個別接種
1987年10月～1990年3月生まれ		幼児期に1回個別接種
1979年4月～1987年9月生まれ		中学生時に医療機関で1回個別接種 ※接種率が低く免疫がない人が多い
1962年4月～1979年3月生まれ	接種なし	中学校で集団接種
1962年4月以前生まれ		接種なし ※大半の人が自然に風疹に感染し免疫がある

※風しん抗体検査・ワクチン助成制度を設けている市町村もあります。

予防するためにできること

妊婦さんは、風しんが発生している地域への外出は可能な限り避けるようにしましょう。
 妊娠を希望する方や家族・地域のみなさんは未来の赤ちゃんを守るために風しんワクチンを受けることが最も重要です。

妊娠中は予防接種を受けることはできず、先天性風しん症候群はそれ自体の治療法はありません。そのため、妊娠を希望する女性だけでなく、家族やまわりの人みんなが抗体検査を受け、抗体価が低い場合は風しんワクチンで免疫を獲得しておくことが最も大切です。



早期発見・早期治療を通して「安心・安全」な医療を届けたい

一 開院の経緯

関西医科大学を卒業後、医局へ入局し、いくつかの開連病院で内科医として経験を積んで参りました。最終的には肺癌の診療に携わり日々治療を行っていました。が、病院で診療する肺癌の患者さんはかなり進行している状態の方が多く、紹介される頃にはもう治療の選択肢が残されておらず、



手の施しようがないこともあり。また、そのような末期の患者さんには進行抑制のために化学療法や緩和目的の治療等を行っていましたが、少しでも長くその人らしく快適に過ごして頂きたいその思いとは裏腹に、治療が奏効しないケースも多く、医師として悔しい思いを抱えていました。ひとりでも多くの人を救いたいと思っても、進行すると思うように治せないのが、次第に予防や早期発見・早期治療に力を注ぎたいと思うようになり、開業を決意致しました。

開業後は、患者さんがちよつとした相談や悩み事を話してくれたり、無事に退院できてお礼に来てくださったりと、どんどん患者さんやそのご家族と距離が縮まっていくことに喜びを感じています。今後は近隣の病院と連携を取り、地域の皆さんに寄り添いながら安心・安全な医療を提供したいと思っております。よろしくお願ひいたします。

一 専門分野とクリニックの特徴

呼吸器内科を専門としておりますので禁煙外来や睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP療法、在宅酸素療法等にも対応しています。また、大学病院では肺癌の臨床試験や治験等にも携わり、研究としては、アレルギー疾患のメカニズムの解析や新しい治療薬の提案なども行っておりまして、喘息等のアレルギー疾患や長びく咳でお悩みのことがあれば一度ご相談下さい。

専門は呼吸器内科ですが当クリニックでは糖尿病患者さんのインスリン治療や認知症患者さんへの投薬等、内科全般の診療を行っております。高血圧等の生活習慣病が重大な病気の原因になることもあり、食生活等に改善する点がないか問診を確認しながらお話しをして健診の啓発や早期受診も勧めいたします。専門分野以外の疾患や健康相談でもお気軽に受診下さい。また、病状が進行する等で通院が困難となった患者さんや痛等の終末期をご自宅で過ごしたい患者さんへの在宅診療も行っています。病院に勤務していた時に担当していた患者さんの中には激しい痛みを訴え、意識朦朧とする中에서도ご自宅に帰りたいと訴える方もおられ、できる限

一 高槻病院への要望

いつも急な受診依頼もお受け頂き大変有難く、心強く感じています。夜間や休日でも急な診療のご依頼をすることもあるかと存じ上げますが、その際も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

お忙しい中、快くインタビューを受けて頂き、ありがとうございました。

今まで関わってきた患者さん一人ひとりの病気と闘う姿が、鳥居先生の「予防医療」への熱意、原動力となっていることが伝わって来ました。当院も鳥居先



とりい内科クリニック

〒569-1034 高槻市大蔵司2丁目53番1号

TEL.072-669-8378

【診療内容】 内科、呼吸器内科

【診療時間】 午前9時～12時、午後4時30分～7時30分

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

※木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日は休診

生と連携をとって病気になった患者さんの治療だけでなく、地域の皆さんの健康の保持・増進に貢献したいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

(地域医療部 梅村・築地)



平成30年度 高槻病院

地域医療連携検討会を開催しました

地域医療部 科長 家山 温子

10月6日(土)16時～大阪新阪急ホテルで19回目となる高槻病院地域医療連携検討会を開催しました。この会は日頃お世話になっている近隣の開業医の先生方や医療関係者、行政の方をお招きして顔の見える関係を築き連携を深めて信頼関係を向上させることを目的に毎年開催しています。ご多忙にもかかわらず総勢198名の方に参加頂きました。今回は「大阪府北部地震を振り返って～今、私たちは何をすべきか～」をテーマに講演、シンポジウムを行いました。今年は全国各地で地震や大雨、台風などの被害が相次ぎ、検討会の前週にも台風24号が近畿を直撃し、さらに台風25号が発生し開催できるのか、講師の方には来て頂けるのかと当日まで心配されましたが、無事開催することが出来ました。

検討会では、様々な立場の方から地震当日の動きをお話

し頂きました。アンケートでは「災害時に地域でどのような対応がなされるのか、なされたのかを知れた事によって今後どう対策を立てるのかの大筋がつかめた」「今まであまり考えた事がなかったので勉強になった」などのご意見を頂きました。

今後、いつ何時どんな災害が起こるのかわかりませんが、どんな時でも医療機関同士、さらに行政、地域などお互いに必要な情報をスムーズに収集・発信して、患者さんや地域の皆さんが安心出来るように連携を深めて協働していきたいと思えます。



JRAT 災害支援活動報告 (岡山県倉敷市)

高槻病院 リハビリテーション科主任 山木 健司



今回、私はJRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistant Team: 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)の要請を得て、8月13日は倉敷市内の避難所5か所をラウンド、8/14～16日は倉敷市真備町の岡田小学校でリハビリテーション支援活動を行ってきました。倉敷市真備町は、今回の豪雨により岡山県内で最も被害の大きかった地域であり、8月16日時点で220名以上の方が避難されておりました。

避難所で行うリハビリテーション支援は、主に①生活不

活発病の予防と対策、②避難所内での安全性や活動性が損なわれないような住環境の提案および設定です。避難所内には要支援・要介護者の方も多くおられ、ただ単に運動を促すだけではなく、その方々が安全に自発的に活動できる環境の設定や、支援を心掛け活動を行いました。

昨今、地震や台風、大雨などの災害が非常に増えており、ライフラインの確保や避難場所の確認など、平時から地域全体での準備や情報共有が必要だと感じました。

被災された方々・地域の日も早い復興を心より願います。



社会医療法人 愛仁会

高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病棟の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
 しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
 しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番3号 ☎072-668-5000
 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号

訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
 ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882
 ケアプランセンターケアイ ☎072-687-2536
 ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941
 しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000
 ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875
 ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2941
 介護老人保健施設ケアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番1号 ☎072-680-3000
 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031